



芳賀町学校運営協議会だより

ともに歩む

No.2 R7.7.9



ホームページ

～ひとづくりはまちづくり まちづくりはひとづくり～



第2回学校運営協議会(研修会)

6月28日(土)に令和7年度第2回協議会を開催しました。今回は研修会としてワークショップを含む講演会を行いました。

- ・演題 「こどもと地域のつながりづくり」
- ・講師 特定非営利活動法人青二才
代表理事 鈴木 祐磨 先生

①講話のキーワードは「居場所」と「出番」

- ・「居場所」：安心して居られ、自分が存在しているのだと心から思える場所や関係性。
- ・「出番」：地域活動など自分が他者の役に立てているという実感がもてる場面や活躍の機会。



○こどもや若者の地域参画のメリットは？

- ・こどもや若者：社会が広がる、自己表現・自己実現の場が得られる。
- ・地域：若者の社会性・自立心の育成による地域の活性化(つながり強化・担い手育成)が図られる。大人の出番も増え、社会全体がより豊かになる。

この「居場所」と「出番」を地域の中で作り続けることで、こどもたちや地域の未来を作り続けられるのだそうです。下野市でさまざまな取組を行っています。若者への地域づくりの協力依頼や支援の申し出などがあり効果が出ています。

②ワークショップはテーマに沿った意見交換

- ・問1 芳賀町において、こどもと地域がつながる機会は今現在どのようなものがあるのでしょうか？(小学校、中学校だけでなく)
- ・問2 芳賀町において、こどもと地域がつながる可能性のある場所・活動のアイデアを出してみてください。
- ・問3 芳賀町でこどもと地域のつながりを作り出すうえで課題になっていることや悩み事はどんなことですか？



問3の回答を貼り出して分類すると、次のような課題が見えてきました。

- ・課題1 日常的に活動できる場が少ない
- ・課題2 情報の発信や取得の方法が少ない
- ・課題3 人財・人員の確保が困難
- ・課題4 関係性をつくるのが難しい
- ・課題5 学区が広く、送迎が困難

これらの課題を踏まえ、

・問4 芳賀町でこどもと地域がつながりづくりを進めるために、自分たちができる小さな一歩は何でしょうか？

これは、各自が持ち帰って考えることになりました。皆、興味津々で、10人近い質問が出ました。終了後も多くの質問が出るほど有意義な研修会となりました。

研修会振り返りアンケートの結果

(一部抜粋)

① 地域づくりについて理解が深まりましたか？

- 大変深まった 7名 ●深まった 9名
- あまり深まらなかった 0名 ●深まらなかった 0名

② 講演会に参加する前に地域づくりについて抱えていた悩みや疑問があった人(8名)に伺います。悩みや疑問は解消しましたか？

- 十分解消 0名 ●解消 4名 ●あまり解消されない 4名 ●解消されない 0名

③ 今後取り上げてほしいテーマ・内容

- ・こどもが自らやりたいくなるような運動・活動
- ・人口減少地域でのこどもとコミュニティーの関わり方
- ・学校と地域の関わり方が大成功している事例

④ 講演会の満足度や感想

- ・芳賀町の地域性も含めて話題を検討していきたい。
- ・移住者(鈴木先生)による地域連携活動は大変だが、そういう「人」の力が大切。
- ・今後迷ったときには、鈴木先生のようにまずやってみるという行動も大切。
- ・実際の活動事例が参考になった。グループ協議では悩みや疑問が解消した。
- ・居場所と出番がキーワード。課題が多く今後の活動に迷うばかりだが、鈴木先生の実践を知ることができて嬉しかった。
- ・新しいことをするのは大変だが必要だと改めて感じた。自分も大変な労力を使って頑張っている。反対者や理解してくれない人と戦い芳賀町のために頑張る。
- ・地域の方々と交流し、多くの話も聞けたので、とても参考になった。
- ・学校だけではない活躍の場があると、自己肯定感が上がって良いと思った。



学校運営協議会 Q&A

Q2 学校運営協議会はどんな活動をしているのですか？

A 芳賀町の場合、次の3つの役割全てを芳賀町学校運営協議会が担っています。(右図参照)

- ①学校運営協議会の役割
- ②地域学校協働本部の役割
- ③学校関係者評価委員会の役割

詳しくは次回説明します。



次回協議会のお知らせ

第3回学校運営協議会(全体会)

- ・期日 9月9日(火) 18:00~20:00
- ・会場 芳賀町民会館多目的室
- ・内容 熟議

